



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和元年6月27日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ タツノクチカ*ツボ*ウシイ サカイジ*ツコウインカイ
団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ [Redacted]
代表者氏名 [Redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	竜之口学区防災マップ作成
事業実施小学校区・地区	竜之口学区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 2 回目 / 【平成 30 年度から】
課題	(学区の実情) 1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄かったが、昨年の西日本豪雨災害を境に防災の関心へ高まりがありますがまだ不十分です。 2. 昨年の西日本豪雨で学区内の一部地域では用水の冠水で道路が通行できない場所もあり、避難場所、避難所への経路の見直しも必要性がでてきた。 3. 学区は災害内容で避難所・避難場所・二時避難場所が徹底されていない。 これらの学区の実情を考えると、下記の諸問題があげられる。 (課題) 1. 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 2. 町内会により避難場所が徹底されていない。 3. 各町内会の平常時の避難訓練の実施、学区全体の避難訓練の実施が毎年必要。 4. 要支援者の把握が出来ていない、また支援体制も出来ていない。

事業の目的	いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが必要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」の作成を目指す。具体的には、このマップを活用し災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域、や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険個所などを書き込み、避難訓練や平常時に確認できる資料を作成する。 昨年の防災訓練（避難訓練）で避難者が大きなマップを見づらそうに開いて見ている様子から携帯型マップを作成。
事業の内容	1. 情報収集と掲載情報の決定 - 昨年の西日本豪雨に関する見直し、岡山市発行の最新のハザードマップを利用する。 ・学区内の危険場所の見直し、避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会より収集し、マップに落とし込む。 ・地域の事業所と連携を図り、避難場所として活用できる仕組みを進める。 ・今後、要支援者の把握と支援手段を確立していく。 2. 校正及びマップの印刷。 3 学区全体へ「防災マップ」完成の案内。 4. 各町内会、公共施設、必要施設などに配布。 5. 色々な集まりの時に「竜之口防災マップ」を使った図上防災訓練を行う。
期待される成果	1. 災害情報、避難情報等を学区民が共有し、災害時に於ける避難が可能になる。 2. 今後、このマップを活用して毎年、色々なテーマで防災訓練ができるようになる。 3. 学区民全体の防災意識の高揚を図る事ができる。 4. 学区は宅地開発も多くマップの定期的な見直しも必要となる。
企画などの工夫	1. 避難訓練、自主訓練等に活用可能なサイズ、携帯型の防災マップを作成。 2. 高齢者等にも分かりやすく、図が示した避難情報を表紙に明記する。 3. いつ何時にも持ち歩き可能な携帯型の防災マップを作成。 4. 雨天時にも活用可能な防雨用紙を使用したマップを作成する。 5. 各町内会の避難場所を組入れる。
協働する団体等	1. 地域の公共施設 2. 地域の事業所・病院・スーパー・商店等 3. 学校・消防署・警察署

事業の 情報公開	1. 学区連合町内会の幹事会等でマップ作成について各町内会へ情報伝達する。 2. 各町内会へマップを配布する。 3. 市の主要な施設へマップを配布する。 4. マスコミに発表。 5. 電子町内会で公開する。
学区 地区 への 広がり	1. 防災マップができて色々な場所で防災に関する話題作りがある。 2. 連合町内会を基に各町内会からマップ作製に委員を選出し、また各種団体へも参加を呼びかけ色々な目線から防災意識を高める。 3. 新たな委員も加わり学区へ広まりが感じられる。
前 年度 から の 見 直 し 拡 充 点	昨年の西日本豪雨に関する問題点等を組み入れ及び見直し、岡山市発行の最新のハザードマップを利用し、携帯型マップを作成。 ・学区内の危険場所の見直し、避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会より収集し、マップに落とし込む。 ・国が制定した避難情報5段階をマップ表紙へ明記する。 ・子どもから高齢者が何時でも見開きできるサイズで作成、雨天時にも活用可能な防雨用紙を使用する。 ・地域の事業所と連携を図り、災害時に避難場所として新たに活用できる仕組みを進める。 ・昨年の防災訓練（避難訓練）で問題となった各町内会の避難場所を一覧表で明記する。
次 年度 以 降 の 予 定	1. 令和元年度、携帯型マップを活用して学区防災訓練を実施する。 2. 令和2年度、令和元年度実施した学区防災訓練の反省点・問題点等を検討・見直す。 防災マニュアル・避難マニュアル等順次作成。 3. 令和3年度、要支援者等の支援体制の構築。
その他PR したい点	

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月 日	活動内容
4月	
5月	
6月	連合町内会で更新内容を説明
7月	準備会議 近隣の事業所、病院等と避難場所の連携について協議
8月	危険個所・施設等を各町内会で調査
9月	危険個所・施設等を各町内会で調査 近隣の事業所、病院等と避難場所の締結 マップの概略を協議
10月	マップの原稿作成
11月	マップの原稿最終確認 校正
12月	印刷発注
1月	印刷完了
2月	マップを学区民へ配付 マップを関係する主要な施設へ配付 マップを活用した避難訓練を実施する。 反省会
3月	監査 総会

収 支 予 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	208,000	112,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	22,238	112,000	竜之口学区連合町内会
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	230,238	224,000	

◆支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	215,113	206,000	A3 防水性用紙 3,700 枚 会議用コピー
会議費	6,904	8,000	お茶
消耗費	8,221	10,000	プリンターインク、用紙
計	230,238	224,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

印刷代支払

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。